

問六 傍線部④の歌について、

(1)「初草」に喩えられている人物は出典のこの帖の名前に相当する。その名称として、適切なものは次のうちどれか。

ア 夕顔 イ 若紫 ウ 匂宮 エ 朝顔

(2)(1)で答えた帖は、出典の第何帖か、例に従って答えよ。

《例》桐壺 ↓ 《答え》第一帖

問七 傍線部⑤を現代語訳せよ。

問八 傍線部⑥とあるが、何をした人のことか。漢字二字で書け。

問九 傍線部⑦・⑧の文法的説明の組み合わせとして、最も適切なものは次のうちどれか。

ア ⑦打消当然の助動詞 ⑧類推の副助詞

イ ⑦打消当然の助動詞 ⑧最小限の限定の副助詞

ウ ⑦打消意志の助動詞 ⑧類推の副助詞

エ ⑦打消意志の助動詞 ⑧最小限の限定の副助詞

問十 傍線部⑨とあるが、この部分に表れた心理として、適切なものは次のうちどれか。

ア 興味 イ 幻滅 ウ 当惑 エ 哀愁

問十一 本文の出典と作者を漢字で答えよ。